



「USGAコースレーティングシステム」
「USGAハンディキャップシステム」
導入に関するご案内

2011年6月

JGAハンディキャップ委員会

■はじめに

「USGAコースレーティングシステム」および「USGAハンディキャップシステム」 導入について

当協会ハンディキャップ委員会では、2007年より数年に渡り現行JGAハンディキャップが含有する問題点とその解決方法について調査研究を実施し、全てのゴルファーにとって「より公平で、より使い易い」ハンディキャップという観点から、目指すべき将来像を模索して参りました。

その間、委員会内外の皆様から様々なご意見を頂戴し、海外のハンディキャップとの比較検討を重ねた結果、現在世界約60の国と地域で採用されているUSGAのハンディキャップ運用方法を導入することが最も望ましいと判断し、今回の導入に至った次第です。

ご周知の通り、ハンディキャップは他のスポーツには無いゴルフ特有の制度であり、誰でも公平にゲームを競えるというゴルフの本質的価値・魅力の源です。

今回の主目的は、この「ハンディキャップを使ったゴルフの楽しさ」をより多くのゴルファーが享受できる環境をつくることによって、当協会の使命である「ゴルフ普及」を推進していくことです。

2012年より段階を経てUSGAのハンディキャップ運用方法の導入を予定しており、それに伴う各位へのご説明は今秋を予定しております。

まずは本案内書にて概要をご説明申し上げますので、ご一読いただき、その主旨、内容についてご理解をいただき、スムーズな移行にご協力賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

2011年6月

JGAハンディキャップ委員会

委員長 諸戸精孝

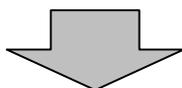
■ハンディキャップ制度改革の趣旨

経済低成長および少子高齢化の時代を迎えた我が国において、ゴルフ界を取り巻く環境は今後ますます厳しくなることが予想されています。特に2015年以降は、現在ゴルフ人口の中核を占めているシニア層が減少傾向に転じると見られており、日本の総人口減少が避けられない状況となった現在においては、「プレー促進」と「ゴルファー人口拡大」に向けた新たな取り組みが必要となっています。そこでJGAとしては、いまこそ改めてゴルフが持つ本当の素晴らしさ、すなわち「ゴルフの本質的価値」を広めていくことが将来の日本のゴルフ発展に向けて非常に重要であり、そのために「より公平で、より使い易い」ハンディキャップが必要不可欠と考えています。

ゴルフの本質的価値

『いつでも、どこでも、誰とでも公平にゲームを楽しめるスポーツ』

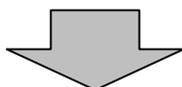
他のスポーツには無いゴルフ特有の利点は、性別、年齢、体力、技量などの差を問わず、誰でも公平にゲームを競い合えることであり、このことを可能にしているのは「ハンディキャップ」です。互いの技量を正確に表したハンディキャップがあれば、正式な競技会に限らずプライベートでのラウンドでも、「いつでも、どこでも、誰とでも公平に」ゲームを楽しむことができ、このことはゴルフが持つ最大の魅力と言えます。



より公平で、より使い易いハンディキャップ

『すべてのゴルファーが、ゴルフの本質的価値(魅力)を味わえる環境』

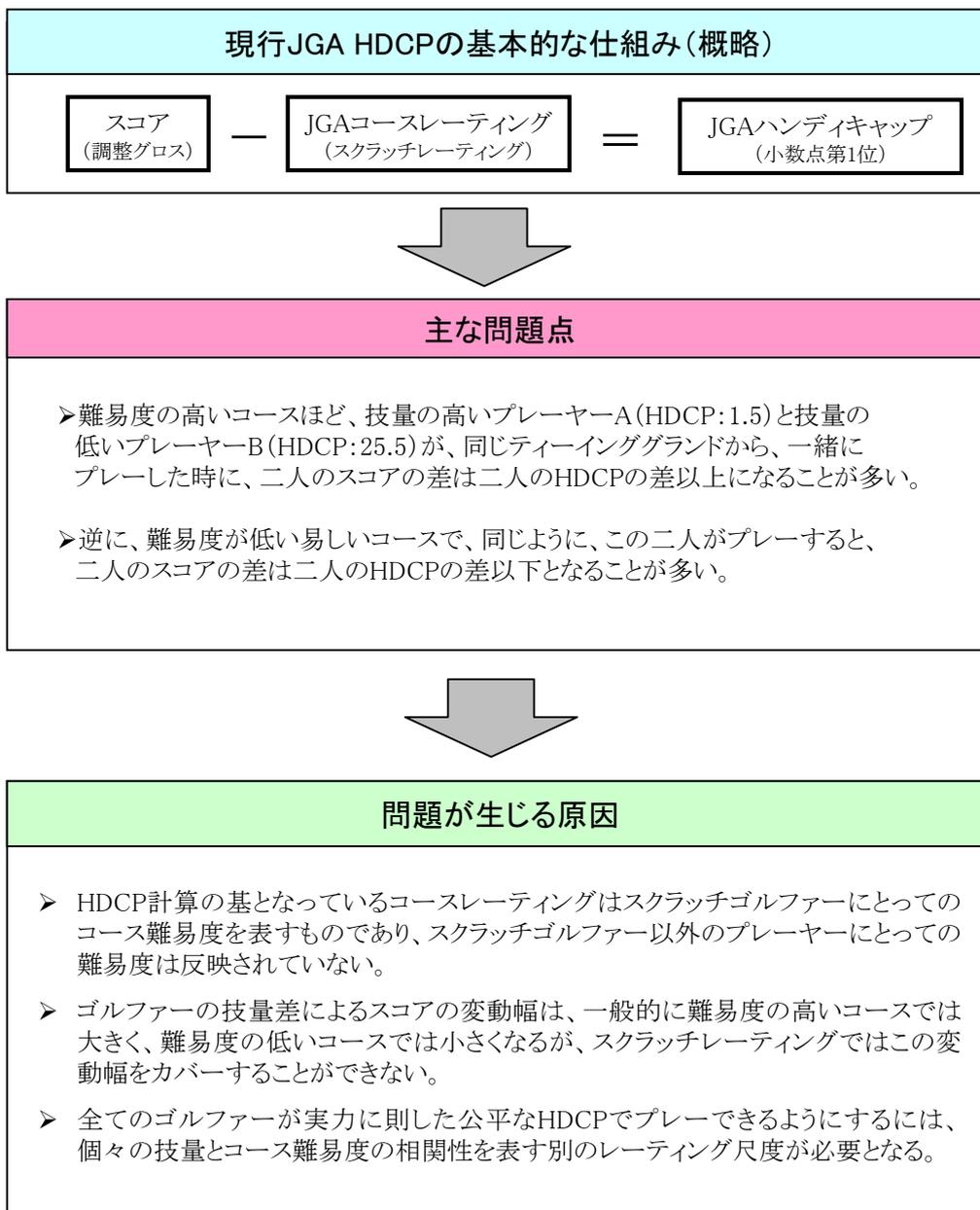
現行JGAハンディキャップは競技志向ゴルファーを中心に普及が進んでいますが、公平性や使い易さにおいて問題点を包有しており、すべてのゴルファーが気軽にハンディキャップを使ってゲームを楽しめる環境が整っているわけではありません。従って、すべてのゴルファーが「いつでも、どこでも、誰とでも公平にゲームを楽しめる」というゴルフの本質的価値を味わえるように、「より公平で、より使い易いハンディキャップ」を導入する必要があります。



ハンディキャップを使ったゴルフ本来の楽しさを広めることにより
「プレー促進」と「ゴルファー人口拡大」を推進

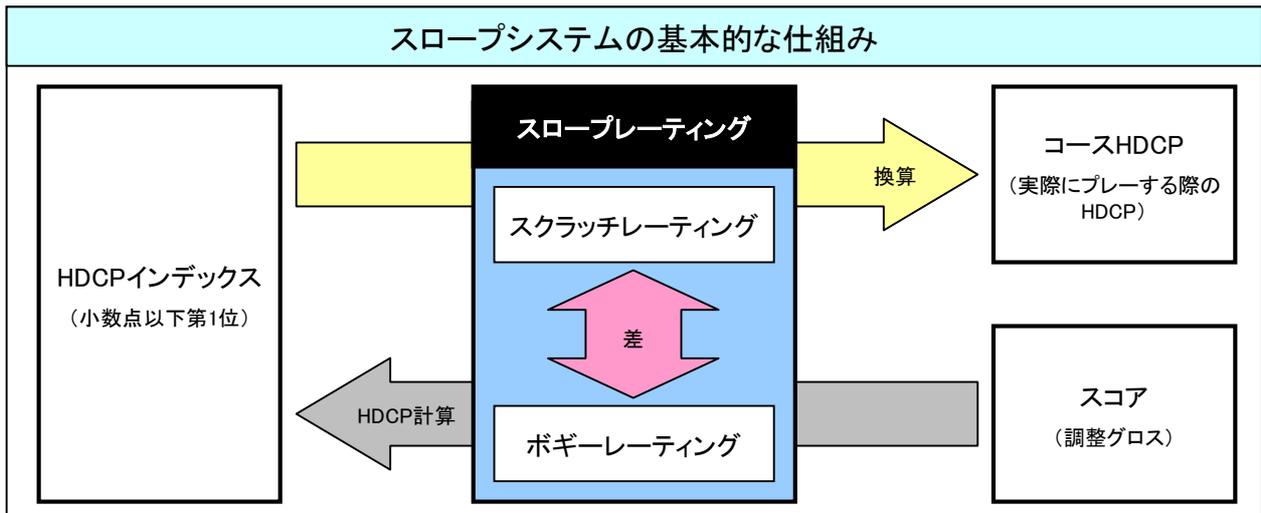
■ 現行JGAハンディキャップの問題点

現行のJGAハンディキャップは、1950年代初頭に当時のUSGAを参考にして開発されたものが原型となっており、スクラッチゴルファーの想定スコアを表したJGAコースレーティング(通称スクラッチレーティング)と実際のスコアとの差(ディファレンシャル)に基づいてHDCP計算を行っています。しかし、スクラッチレーティングのみを用いた計算方法にはHDCPの公平性・互換性に問題が生じることが分かってきました。



■USGAハンディキャップシステムおよび コースレーティングシステム(通称:スロープシステム)とは？

スロープシステムは、USGAが1980年代に10年以上の歳月をかけて開発したハンディキャップ運用方法です。それ以前のアメリカでは、現在のJGAと同様にスクラッチレーティングのみを用いたHDCP計算方式を採用していましたが、公平性・互換性の問題を解決するために、ゴルファーの技量に応じた新しいコース難易度(スロープレーティング)を採り入れた運用方法を開発しました。



スロープシステムの主な特徴

- ▶ 従来のスクラッチレーティングに加えて、HDCP20前後のゴルファー(ボギーゴルファー)の想定スコアを表すボギーレーティングを、スクラッチレーティングと同様の方法で査定。2つのレーティング差(即ちスコア差)を標準化することにより、全ての技量のゴルファーに汎用できるスロープレーティングを算出。

スロープレーティング算出方法:
スコア差 × 5.381(女子は4.24)

| | | | | | |
|------------|----|-----|-----|-----|-----|
| スロープレーティング | 55 | --- | 113 | --- | 155 |
| 難易度 | 低 | --- | 標準 | --- | 高 |
| スコア差 | 10 | --- | 21 | --- | 29 |

- ▶ ゴルファー個々のHDCPをインデックス(指標値)とし、プレーするコースのスロープレーティングに基づいて適切なコースHDCP(実際にプレーする際のHDCP)に換算する。これによって、全ての技量のゴルファーがコース難易度に応じた公平なHDCPでプレーを楽しむことができる。

コースHDCP計算方法: HDCPインデックス × スロープレーティング ÷ 113(小数点第1位四捨五入)

【例】HDCPインデックス15.1のプレーヤーが、スロープレーティング143のコースをプレーする場合のコースHDCP(実際にプレーする際のHDCP): $15.1 \times 143 \div 113 = 19.1 \Rightarrow 19$

- ▶ HDCPインデックスの計算方法の基本的な考え方はJGAハンディキャップと同様だが、ディファレンシャル計算にスロープレーティングを反映させることによって数値の正確性を高めている。

HDCPインデックス計算方法: (調整グロススコア - スクラッチレーティング) × 113 ÷ スロープレーティング
20枚中10枚のベストディファレンシャル平均 × 0.96(小数点第2位切り捨て)

■スロープシステムの基本的な使い方

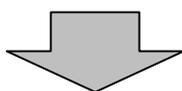
スロープシステムは、ハンディキャップインデックスとスロープレーティングの組み合わせによって運用するシステムです。ゴルファーは自分のハンディキャップインデックスを、プレーするコースの各ティーに設定されたスロープレーティングに応じて適正なコースハンディキャップ(いわゆるプレーイングハンディキャップ)に調整してプレーします。

コースハンディキャップは基本的に難易度の高いコース(ティー)では多くなり、難易度の低いコース(ティー)では少なくなります。ゴルファーの技量(つまりHDCPインデックス)によってその増減幅が変わるため、技量の異なるゴルファーでも常に公平なコースハンディキャップで競い合うことができます。

またスロープレーティングは各ティーに設定されるため、異なるティーからプレーするゴルファー同士でも公平なコースハンディキャップで対戦することができます。

◆スロープシステムの使用例(男子の場合)

| プレーするコース (ティー)の スロープレーティング | コースHDCP | | 両者の コースHDCP差 |
|----------------------------------|----------------------------|-----------------------------|-----------------|
| | ゴルファーA (HDCPインデックス:5.1) | ゴルファーB (HDCPインデックス:20.1) | |
| 100 (難易度低) | 5 | 18 | 13 |
| 113 (難易度標準) | 5 | 20 | 15 |
| 145 (難易度高) | 7 | 26 | 19 |



いつでも、どこでも、誰でも
ハンディキャップを使って公平にゲームを楽しめる

■スロープシステム導入によるメリットは？

スロープシステムを導入し、ハンディキャップを活用したゴルフ本来の楽しさを広めていくことによって、ゴルファーのプレー促進やゴルフの更なる普及に繋がる様々なメリットが考えられます。

いつでもどこでも適性なHDCP ゴルファーのプレー促進・来場者アップに繋がる

- ▶ 初めてのコースでもコースHDCP(実際にプレーする際のHDCP)から適正な目標スコアを設定できるので、色々なコースで腕試しをしたいと思うゴルファーを増やせる。
- ▶ ビジターとしてラウンドするゴルフ場でも適正なコースHDCPでプレーできるので、倶楽部間のゴルファー交流を促進し、ラウンド回数の増加が見込める。
- ▶ 運に左右されるダブルペリア等でなく、アンダーハンディ戦のコンペも手軽で公平に行うことができる。
- ▶ スロープシステムは世界約60の国と地域で採用されているので、海外からの集客にも効果が見込める。(スコットランドをはじめ、韓国、中国、台湾等もスロープ採用)
- ▶ スロープレーティング(スクラッチレーティングも同様)は、あくまでもゴルファーの技量に対して適正なHDCPを導き出すための難易度であり、コースの善し悪しを評価する数値ではありません。難易度の高低に関わらず、実力に則してプレーを楽しむことがゴルファーの満足に繋がります。

各種倶楽部競技に対応 適正なHDCPによる競技開催

- ▶ スロープシステムの導入で、査定を受けたティーインググラウンドにスロープレーティングが付与されることにより、正確なコースHDCP(プレーする際のHDCP)でプレーできる。これにより月例競技などのクラス分けも不要になる他、男女混合同一競技などにも対応できる。

健全な生涯スポーツとしてのゴルフの本質価値向上に繋がる

- ▶ HDCPを使ったゴルフの楽しさを広めることにより、性別、年齢、技量の差を問わず誰でも公平にゲームを競えるという、他のスポーツにはないゴルフの素晴らしさを広めることができる。
- ▶ 異なるティーからプレーしても公平なHDCPで競えるので、家族でも気軽に楽しむことができる。(スロープレーティングは各ティーに設定する)
- ▶ 社用ゴルフからプライベートラウンドへと変化するゴルファーの志向にマッチする。

■USGAハンディキャップ導入のスケジュール(概要)

2012年よりUSGAハンディキャップ運用方法を段階を経て導入するにあたり、現在のところ以下のようなスケジュールで現行制度からの移行作業を進める予定となっております。詳細は今秋開催の説明会にてご説明いたしますが、ゴルファーや加盟倶楽部の皆様に対して負担や混乱を与えないよう、スムーズな移行を目指して参りますので、ご理解ご協力下さいますようお願い申し上げます。

2011年 次回の査定よりコースレーティングの有効期限が現行15年から10年になります

USGAとの契約に基づき、本年から導入いたします。
本年に入り地区連盟によるコースレーティング査定(再査定)を受けた倶楽部から、有効期限は10年になります。

2012年 「USGAコースレーティングシステム」を導入します

スクラッチレーティングの他にボギーレーティングを査定し、2つのレーティングの差を標準化した「スロープレーティング」を算出、査定されたティーインググラウンド毎に付与します。

これにより、全ての技量のゴルファーが難易度に応じた公平な自身のコースHDCP(実際にプレーする際のHDCP)でプレーを楽しむことができます。
2012年の導入時には、全国の約300のJGA加盟ゴルフ倶楽部にスロープレーティングを付与できる予定です。

コースレーティングの呼称が変わります

現行の「JGAコースレーティング」から「JGA/USGAコースレーティング」に呼称を変更します。

ハンディキャップの呼称が変わります

現行の「JGAハンディキャップ」から「JGA/USGAハンディキャップインデックス」に呼称変更します。
(JGA/USGAハンディキャップインデックスの計算方式は現行JGA方式と変わりません)

2014年 「USGAハンディキャップシステム」を導入します。

JGA/USGAハンディキャップインデックスの計算方式がUSGA方式に変わります。

■USGAハンディキャップ導入に伴う主な変更点

| | USGAハンディキャップ導入に伴う 主な変更点 | 現行JGAハンディキャップ |
|-------------------------|--|--------------------------|
| コースレーティング 有効期限 | 10年 (USGAとの契約に基づき2011年より導入) | 15年 |
| コースレーティング 呼称 | JGA/USGAコースレーティング (2012年より変更) | JGAコースレーティング |
| コースレーティング 査定 | スクラッチレーティング/ボギーレーティングを査定(スロープレーティングを算出) (2012年より順次) | スクラッチレーティングのみ 査定 |
| ハンディキャップ 呼称 | JGA/USGAハンディキャップインデックス (2012年より変更) | JGAハンディキャップ |
| ハンディキャップイン デックスの計算方法 | USGA方式により算出 [注1] (2014年より変更) | 2012～2013年 JGA方式により算出 |

[注1]

2014年よりハンディキャップ運用に関する規定をUSGA方式に移行する予定です。現行JGAハンディキャップ規定との具体的な相違点の詳細については今後、説明会などを通して順次ご案内申し上げます。